

2018年度

# 自己点検・評価報告書

2019年3月

学校法人 文理学園



日本文理大学医療専門学校

診療放射線学科

## 目次

I	学校の現況	1
II	評価の基本方針	2
III	重点目標	2
IV	評価項目の達成及び取組状況	3
	1. 教育理念・教育目標	3
	2. 学校運営	4
	3. 教育活動	5
	4. 学修成果	6
	5. 学生支援	7
	6. 教育環境	8
	7. 学生の受入れ募集	9
	8. 財務	10
	9. 法令等の遵守	11
	10. 社会貢献・地域貢献	12
V	総合評価	13

## I 学校の現況

### (1) 施設の概要

学校名:学校法人 文理学園 日本文理大学医療専門学校

所在地:大分県大分市一木1727

施設長:校長 豊住 昭和

### (2) 沿革

1995年(平成07年)学校法人文理学園 NBUメディカルカレッジ 開校 診療放射線科設置

2004年(平成16年)学校法人文理学園 日本文理大学医療専門学校 開校 診療放射線学科設置

2005年(平成17年)同校 臨床検査学科・臨床工学科設置

### (3) 学科の構成

課程名	学科名	修業年限	入学定員	総定員	昼夜別
医療専門課程	診療放射線学科	3年	80名	240名	昼間
	臨床検査学科	3年	40名	120名	昼間
	臨床工学科	3年	40名	120名	昼間

### (4) 学生数

学科名	1学年	2学年	3学年	全学年
診療放射線学科	64	63	85	212
臨床検査学科	36	38	29	103
臨床工学科	21	17	19	57

### (5) 教職員数

	専任	非常勤
診療放射線学科	10	4
臨床検査学科	6	7
臨床工学科	7	8
職員数	23	19

## II 評価の基本方針

- (1) 自己点検・自己評価を行うことにより教育研究活動の現状を把握し、諸機能を活性化させ、その教育水準の維持向上に努めることを目的とする。
- (2) 自己点検・自己評価は「専修学校における学校評価ガイドライン」に則り実施するものとする。
- (3) 判定基準

4…適切	適切にされており、特に解決すべき課題はない
3…ほぼ適切	現時点で早急に解決すべき課題はないが、状況把握が必要
2…やや不適切	状況把握を行い、解決に向けた取組みが必要
1…不適切	早急に解決すべき課題である

## III 重点目標

### 1. 学校の教育目標

- (1) 社会に必要とされる、保健・医療の担い手としての人間的資質を養い、広く社会に貢献できる医療人を育成する
- (2) 進化発展する、医療技術に対応するために、勉学に励み、日々研鑽を怠らない信頼される医療のスペシャリストを育成する
- (3) 国家試験の全員合格を目指す

### 2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- (1) 国家試験合格率100%を目指した教育の実践
- (2) 定員充足率100%を目指した学生募集の展開
- (3) 学生の就職活動の早期化および、施設の開拓

#### IV 評価項目の達成及び取組状況

##### 1. 教育理念・教育目標

評価項目		評価
1	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	4…適切
2	学校における職業教育の特色は何か	4…適切
3	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3…ほぼ適切
4	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	3…ほぼ適切
5	学科の教育目標、育成人材像は、対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4…適切

① 課題
4 学校の理念・目的・育成人材像は確立されており、パンフレット等に記載されているものの周知に関し不十分である。
② 今後の改善方策
4 Webや個人面談会(保護者面談会)、後援会・校友会行事を活用して周知を進める。
③ 特記事項

## 2. 学校運営

評価項目		評価
1	目的等に沿った運営方針が策定されているか	3…ほぼ適切
2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	3…ほぼ適切
3	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3…ほぼ適切
4	人事、給与に関する規定等は整備されているか	4…適切
5	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	3…ほぼ適切
6	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3…ほぼ適切
7	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	3…ほぼ適切
8	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3…ほぼ適切

① 課題
2 学校運営に関する中長期計画が十分周知されていないところがある。 8 成績、就職などの業務システムが分散しており、業務が非効率である。
② 今後の改善方策
2 運営方針に関する中長期計画を明示し、周知していく。 8 情報システムを活用し、成績管理・出席管理・就職管理等の業務の効率化を図っていく。
③ 特記事項

### 3. 教育活動

評価項目		評価
1	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4…適切
2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3…ほぼ適切
3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4…適切
4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3…ほぼ適切
5	関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	2…やや不適切
6	関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4…適切
7	授業評価の実施・評価体制はあるか	4…適切
8	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4…適切
9	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	3…ほぼ適切
10	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3…ほぼ適切
11	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3…ほぼ適切
12	関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか	3…ほぼ適切
13	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	2…やや不適切
14	職員の能力開発のための研修等が行われているか	3…ほぼ適切

① 課題
5 13 関連団体との協力体制は整備されているものの、連携したカリキュラム作成や見直しに関して十分とは言えない。
② 今後の改善方策
5 13 教育課程編成委員会を中心にカリキュラムの見直しや研修の場を設けていく。
③ 特記事項

#### 4. 学修成果

評価項目		評価
1	就職率の向上が図られているか	3…ほぼ適切
2	資格取得率の向上が図られているか	3…ほぼ適切
3	退学率の低減が図られているか	3…ほぼ適切
4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3…ほぼ適切
5	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4…適切

① 課題
4 卒業生の社会的な活躍動向を十分把握できていない。
② 今後の改善方策
3 学生対応、メンタルケアなどの実施など、今後も改善しながら支援に取り組んでいく。 4 外部研修や学術活動への積極的な参加により卒業生との接点を増やし卒業生の活躍を把握し評価する。
③ 特記事項



## 5. 学生支援

評価項目		評価
1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4…適切
2	学生相談に関する体制は整備されているか	4…適切
3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	3…ほぼ適切
4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3…ほぼ適切
5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	3…ほぼ適切
6	学生の生活環境への支援は行われているか	4…適切
7	保護者と適切に連携しているか	3…ほぼ適切
8	卒業生への支援体制はあるか	3…ほぼ適切
9	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3…ほぼ適切
10	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4…適切

① 課題
② 今後の改善方策
5 課外活動の多くはボランティア活動であり、高齢者福祉施設でのお世話、日本赤十字活動、リレーフォーライフなど学生自身の自主的な参加によるものである。すべての企画に支援を行っているが、すべての学生が活動できるよう、さらに機会を増やしていきたい。
③ 特記事項

6. 教育環境

評価項目		評価
1	施設・整備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3…ほぼ適切
2	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3…ほぼ適切
3	防災に対する体制は整備されているか	4…適切

① 課題	
1	医療機器の経年劣化による故障により、教育環境が不十分となる恐れがある。
② 今後の改善方策	
1	計画的に医療機器の整備や更新計画を整えておく。
③ 特記事項	

7. 学生の受入れ募集

評価項目		評価
1	学生の募集活動は、適正に行われているか	3…ほぼ適切
2	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4…適切
3	学納金は妥当なものとなっているか	3…ほぼ適切

① 課題
1 募集活動は積極的に行われているが、定員充足には至っていない。
② 今後の改善方策
1 担当者だけでなく教職員全体で募集活動(診療放射線技師の認知拡大)を行う。
③ 特記事項

## 8. 財務

評価項目		評価
1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4…適切
2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3…ほぼ適切
3	財務について会計監査が適正に行われているか	4…適切
4	財務情報公開の体制整備はできているか	3…ほぼ適切

① 課題	
4	学校法人として財務情報を公開しているが、本校のホームページで掲載されていない。
② 今後の改善方策	
4	本校ホームページにて財務情報を公開する。
③ 特記事項	

9. 法令等の遵守

評価項目		評価
1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4…適切
2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3…ほぼ適切
3	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3…ほぼ適切
4	自己評価結果を公表しているか	3…ほぼ適切

① 課題	
2	個人情報保護法に基づく、学生個人情報の管理体制が一元化されていない。
3	自己評価の実施について、PDCAサイクルが不十分なところがある。
② 今後の改善方策	
2	個人情報の取り扱い方針を定めて、個人情報の保護に万全を期す。
3	適正な自己評価の実施と本校ホームページで公表する。 自己評価におけるPDCAサイクルを機能させ教育の質向上に努める。
③ 特記事項	

10. 社会貢献・地域貢献

評価項目		評価
1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3…ほぼ適切
2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3…ほぼ適切
3	地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	2…やや不適切

① 課題
2 ボランティア活動の支援は積極的に行われているが参加者が限られている。
② 今後の改善方策
3 関連団体と協力して、講座や教育訓練における活動を積極的に実施していく。
③ 特記事項

## V 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

### 【学校評価の具体的な目標】

学校が、実践的な職業教育等を行うため、自らの教育活動その他の学校運営について、社会のニーズを踏まえた目指すべき目標を設定し、その達成状況や達成に向けた取組の適切さ等について自己評価を実施・公表することにより、学校としての組織的・継続的な改善を図ることを目的とする。また、学校関係者評価において、自己評価が適切に実施され学校運営の改善につながっているかを評価していくことでPDCAサイクルを機能させる。

### 【総合的な評価】

すべての項目において、「適切」の評価を得るに至っていない。来年度以降、各項目にあげた改善方策を実施し、運営の改善・教育の質向上を図る必要がある。来年度には学校評価委員会ならびに教育課程編成委員会が設置されることから、これらの委員会を機能させることで運営の改善につなげていくことが重要である。